

# 佐久市辺地総合整備計画

令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)

令和2年4月

(第1次変更 令和2年9月)

(第2次変更 令和4年3月)

(第3次変更 令和5年3月)

佐久市

## 佐久市の概要

### (地勢)

佐久市は、本州のほぼ中央、長野県の東部にあり、県下4つの平の1つである佐久平の中央に位置する日本で海から1番遠い都市です。

北に浅間山、南に八ヶ岳連峰を望み、蓼科山・双子岳・荒船山に囲まれ、千曲川が市の中央部を南北に貫流し、肥沃な耕地を形成するなど、自然環境に恵まれた高原都市です。

当地域は、四方を山々に囲まれた盆地にあり、気温の較差が大きく、また降水量が少ない典型的な内陸性気候を示す高燥冷涼地です。特に、年間を通して晴天率が高く、国内でも有数の日照時間が多い地域となっています。

### (人口動態等)

令和2年(2020年)の国勢調査によると、人口は98,199人、世帯数は39,924世帯で、県内第4位の人口規模を有しており、前回(平成27年(2015年))の国勢調査の数値と比較すると、人口の1.2%減少に対し、世帯数は3.7%の増加と高い数値を示しています。

また、国勢調査による年齢3階層区分別人口を平成27年(2015年)と令和2年(2020年)で比較すると、14歳以下では13.3%が12.9%となり、0.4ポイント減少、65歳以上では29.0%が31.2%となり、2.2ポイント増加しており、核家族化と少子高齢化が進んでいます。

なお、合計特殊出生率は、令和2年(2020年)で1.66であり、全国の1.34、長野県の1.53を上回っています。

### (歴史)

古くは東山道、江戸期には中山道や甲州街道が通り、近年においては、北陸新幹線、上信越自動車道や中部横断自動車道の高速度交通網が交わる交通の要衝となっています。

奈良・平安時代には、「望月の駒」と称された馬を朝廷に献上していた牧があり、江戸時代には、中山道の6つ宿場が置かれ、また五郎兵衛米で知られる五郎兵衛用水の開削や、日本に2つしかない星型の洋式城郭の龍岡城五稜郭も築城され、明治には、日本最古の擬洋風学校の1つである旧中込学校が建設されています。

郷土芸能や伝統行事も伝承されていて、天下泰平と五穀豊穰を祝う神事で県無形民俗文化財に指定される「湯原神社式三番」、江戸時代から続く火祭りで奇祭として知られる「榊祭り」など、後世に受け継がれています。

### (合併などの経過)

佐久市・臼田町・浅科村・望月町の4市町村の合併により、平成17年(2005年)4月1日に新たな佐久市が誕生しました。

旧佐久市は、明治期の町村制施行により出来た14町村が、昭和に入り浅間町、野沢町、中込町、東村の4町村になり、同36年(1961年)4月1日の合併により佐久市となりました。

旧臼田町は、明治期の4町村が、昭和30年（1955年）に臼田町、田口青沼村、同32年（1957年）4月1日の合併により臼田町となりました。その後、同34年（1959年）4月1日に大字平林のうち岩水を除く曾原・羽黒下・平林が佐久町（現・佐久穂町）へ境界変更しています。

旧浅科村は、明治期中津村、五郎兵衛新田村、南御牧村の3村が、昭和30年（1955年）1月15日の合併により浅科村となりました。

旧望月町は、明治期の6町村が昭和29年（1954年）に4町村となり、同34年（1959年）8月1日に本牧町、布施村、春日村、協和村の合併により望月町となりました。その後、同35年（1960年）4月15日に大字茂田井の一部が立科町へ境界変更しています。

### （産業構造）

就業別産業人口は、平成27年（2015年）は、第1次産業が9.0%、第2次産業が29.3%、第3次産業が61.7%となっています。

平成22年（2010年）と比較すると、第1次産業、第2次産業が減少し、第3次産業が増加しており、佐久平の市街地の発展とともに小売業を中心に第3次産業の割合が伸びています。

第1次産業の割合は減少傾向にありますが、市の基幹産業である農業は、米や野菜を特産としており、特に「五郎兵衛米」をはじめとした佐久の米は、全国的にもその名を知られています。また、冷涼な気候を活用した高原野菜、日照時間の長さや昼夜の大きな気温差を利用した花卉や果樹も市場で高く評価されています。

### （重点施策）

第二次佐久市総合計画では、以下の7項目を将来都市像の実現に向けた施策の大綱として設定しています。

- ① 生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり
- ② 地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり
- ③ 力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
- ④ 豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
- ⑤ 快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
- ⑥ 暮らしを守る安心と安全のまちづくり
- ⑦ ひとと地域の力が生きる協働と交流のまちづくり

### （地域指定）

辺地、過疎、山村振興、農業振興、農工導、低開発、特定農山村、都市計画

### （財政状況）

令和2年度（2020年度）の普通会計の歳入総額は、対前年度比34.3%増の672億71百万円で、そのうち市税が129億95百万円（構成比19.3%）、地方交付税が125億52百万円（構成比18.7%）となっています。

歳出総額は、対前年度比30.5%増の632億68百万円で、そのうち人件費が70億16百万円（構成比11.1%）、普通建設事業費が79億22百万円（構成比12.5%）となっています。

主な財政指標は、次の表のとおりとなっています。

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
経常収支比率	81.9	81.8	82.1
財政力指数	0.505	0.507	0.511
実質公債費比率	-0.3	-0.6	-0.2

# 佐久市辺地対策事業の実施状況及び今後の整備方針

## 1 辺地の状況

辺地名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	辺地度 点数	辺地対策事業債（百万円）						前計画時の 辺地名
				平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	
東立科・美笹辺地	182	12.1	160						0.6	東立科・美笹辺地
黒田・大月辺地	147	17.6	119		1.5	1.5		5.0	19.0	黒田・大月辺地
苦水辺地	146	6.5	116						8.1	苦水辺地
東地辺地	165	15.3	189					4.8	0.1	東地辺地
丸山・馬坂・ 広川原辺地	119	31.5	111	3.7	3.3	3.4	1.7	1.2		丸山・馬坂・ 広川原辺地
湯原新田・ 十二新田辺地	357	23.4	102	39.8	12.0	12.4		364.0	464.2	湯原新田・ 十二新田辺地
印内原・御牧原 (望月) 辺地	188	3.4	161							印内原・御牧原 (望月) 辺地
協西・合の沢・ 大木・長者原・ 春日西久保・ 春日東久保辺地	1,335	89.8	132							協西・合の沢・ 大木・長者原・ 春日西久保・ 春日東久保辺地
計 8 辺地	2,639	200		43.5	16.8	17.3	1.7	375.0	492.0	

## 2 これまでの辺地対策事業の実施状況

### (1) 前の計画期間中に行った辺地対策事業の実施状況

辺地は、他地域に比べ生活環境、社会環境の整備が遅れていることから、通行の利便性、安全性やアクセスの確保を図るための道路2路線の整備、林業の振興と森林開発を図るための林道1路線の整備、地域の消防力の機能強化を図るための消防施設3か所の設備の更新、利用者の快適性と利便性向上による交流人口創出を図るための観光施設1か所の整備を行うとともに、地域住民のスポーツの振興、健康増進及び地域のにぎわい創出や、防災拠点としての機能向上を図るための運動施設1か所の整備に着手しました。

### (2) 前の計画期間中に行った事業の成果

辺地における道路の整備を行ったことにより、住民の通行の利便性や交通の安全性が高まり、市の中心部等へのアクセスも容易になっています。また、辺地内にある運動施設などの公共施設や観光施設へのバス等の通行も容易になり、資源の有効な活用による地域活性化にも寄与できました。

林道については、林道開設等の整備を行ったことで、森林開発に活用され、林業の振興が図られています。

消防設備については、設備の更新を行ったことで、地域の消防力が強化され、地域住民の安全で安心な生活環境の確保が図られています。

観光施設については、施設整備を行ったことで、利用者の利便性が向上し、更なる誘客が図られています。

運動施設については、設計及び造成工事に着手し、計画的に施設整備を進めてきました。

### 3 今後の辺地の考え方及び整備方針

#### (1) 前計画との変更点

変更点は、ありません。

#### (2) 辺地対策の考え方

辺地については、他地域に比べ生活環境、社会環境の整備が遅れていることから、生活文化水準の格差是正を図ることを第一義の目的としますが、地域コミュニティの維持確保と交流人口・定住人口創出による活性化も視野に入れて対策を講じることとします。

その際には、各辺地がそれぞれの目的に限定した事業を行うのではなく、各地域の伝統や文化、ヒトやモノといった資源を有効に結び付け、また辺地外の資源活用による相乗効果も視野に入れ、より高い効果が発揮できる視点を取り入れることとします。

#### (3) 整備方針

本市内の辺地は、小型動力ポンプ付積載車等の消防施設が老朽化している地域があり、火災や大雨等の万一の災害時に備え、安全で安心な生活を送ることにに対して不安感があります。

このため、老朽化した小型動力ポンプ付積載車等の消防施設の更新により、住民の安全で安心な生活の確保に取り組み、地域内の生活機能を整備することにより、高齢化が著しい地域住民の生活の質の向上と安全を図ります。

また、辺地内には、運動施設や観光施設、宿泊が可能な公共施設があり、水と緑が織りなす豊かな自然環境もあります。これらの施設を整備することによって地域内外のひとの交流を創出し、地域の活性化を図ります。

通信インフラについては、光ファイバ網を整備することによって、都市部との情報格差を解消し、各種サービス展開を可能とする環境を整えることで、地域活性化を図ります。

# 総合整備計画書

長野県佐久市東立科・美笹辺地  
 辺地の人口179人：面積12.1km<sup>2</sup>

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 東立科・美笹
- (2) 辺地の中心の位置 佐久市東立科335番地
- (3) 辺地度数 160点

## 2 公共施設の整備を必要とする事情

本辺地は、佐久市の南西に位置し、市役所から約13.2km離れた山村地区です。

### ○電気通信に関する施設

本辺地内の通信インフラは、大手通信事業者が提供するLTE通信網や、ケーブルテレビ事業者が提供するケーブルインターネット等がありますが、周囲の電波環境の影響を受けやすく、上り方向の通信速度が遅いなどといった問題があり、光ファイバ網が普及している都市部との情報格差が生じています。

このことから、同地域に高速大容量通信を可能とする光ファイバ網を整備することで、超高精細映像の提供やテレワーク等に必要な環境を整え、都市部との情報格差是正を図ることにより、地域コミュニティの維持や交流人口の創出へと繋げ、地域活性化を図ります。

## 3 公共施設の整備計画

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
電気通信に関する施設	佐久市	10,262		10,262	10,200
合計		10,262		10,262	10,200

# 総合整備計画書

長野県佐久市黒田・大月辺地  
 辺地の人口146人：面積17.6km<sup>2</sup>

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 黒田、大月
- (2) 辺地の中心の位置 佐久市内山739番地1
- (3) 辺地度数 236点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、佐久市の東に位置し、市役所から約12.9km離れた山村地区です。

### ○内山牧場キャンプ場

本辺地内の内山牧場キャンプ場は、卓越した景観が望める場所として、県内外から多くの観光客が訪れる観光拠点となっており、地域住民とのコミュニティの場としても重要な役割を果たしています。

キャンプ場においては、コテージ利用ニーズも高いことから、施設利用者の利便性向上と更なる誘客に対応できるよう施設の整備を行います。また、内山牧場内にある観光宿泊施設である山荘あらふねが老朽化に伴い営業を終了したことから、当該施設を解体の上、新たな観光施設へ更新を行い、交流人口の創出による地域活性化を図ります。

### ○電気通信に関する施設

本辺地内の通信インフラは、大手通信事業者が提供するLTE通信網や、ケーブルテレビ事業者が提供するケーブルインターネット等がありますが、周囲の電波環境の影響を受けやすく、上り方向の通信速度が遅いなどといった問題があり、光ファイバ網が普及している都市部との情報格差が生じています。

このことから、同地域に高速大容量通信を可能とする光ファイバ網を整備することで、超高精細映像の提供やテレワーク等に必要環境を整え、都市部との情報格差是正を図ることにより、地域コミュニティの維持や交流人口の創出へと繋げ、地域活性化を図ります。

## 3 公共施設の整備計画

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
内山牧場キャンプ場	佐久市	203,400		203,400	193,600
電気通信に関する施設	佐久市	10,842		10,842	10,800
合計		214,242		214,242	204,400



# 総合整備計画書

長野県佐久市丸山・馬坂・広川原辺地  
 辺地の人口125人：面積31.5km<sup>2</sup>

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 丸山・馬坂・広川原
- (2) 辺地の中心の位置 佐久市田口935番地5
- (3) 辺地度数 111点

## 2 公共施設の整備を必要とする事情

本辺地は、佐久市の南東に位置し、市役所から約10.7km離れた山村地区です。

### ○電気通信に関する施設

本辺地内の通信インフラは、大手通信事業者が提供するLTE通信網や、ケーブルテレビ事業者が提供するケーブルインターネット等がありますが、周囲の電波環境の影響を受けやすく、上り方向の通信速度が遅いなどといった問題があり、光ファイバ網が普及している都市部との情報格差が生じています。

このことから、同地域に高速大容量通信を可能とする光ファイバ網を整備することで、超高精細映像の提供やテレワーク等に必要環境を整え、都市部との情報格差是正を図ることにより、地域コミュニティの維持や交流人口の創出へと繋げ、地域活性化を図ります。

## 3 公共施設の整備計画

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
電気通信に関する施設	佐久市	12,898		12,898	12,800
合計		12,898		12,898	12,800

# 総合整備計画書

長野県佐久市湯原新田・十二新田辺地  
辺地の人口 357人：面積 23.4k㎡

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 湯原新田、十二新田
- (2) 辺地の中心の位置 佐久市上小田切854番地4
- (3) 辺地度数 102点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、佐久市の南に位置し、市役所から約11.2km離れた山村地区です。

### ○臼田総合運動公園

本施設は、昭和62年（1987年）から平成4年（1992年）にかけ、多目的グラウンド、テニスコート、マレットゴルフ場、管理棟及び宿泊棟が旧臼田町により整備され、臼田総合運動公園として地域住民のスポーツの振興、健康増進のみならず、合宿の誘致等による地域のにぎわいの創出に寄与してきました。また、平成28年（2016年）には県の総合防災訓練が本施設を主会場として行われるなど、防災拠点としての役割を担ってきましたが、老朽化が著しい状態にあります。

本施設は、平成30年（2018年）4月に開通した中部横断自動車道佐久南インターチェンジから八千穂高原インターチェンジ間に新設された佐久臼田インターチェンジからアクセス性が高く、さらに令和2年（2020年）までには山梨・静岡ルートが全線開通することから、友好都市である静岡市をはじめ東海圏からの新たな人の流れの創出が期待されるほか、大規模災害による東海圏からの避難者の受入れなど防災拠点としての機能向上も求められています。

このため、本施設の再整備及び機能強化を行い、時代のニーズに応えることにより、地域住民の利便性を高めるとともに、交流人口の創出による地域資源の有効活用と地域振興を図ります。

### ○小型動力ポンプ付積載車

本辺地内の湯原新田地区及び十二新田地区には、それぞれ小型ポンプ付積載車が配備されていますが、配備後20年余りが経過しており、経年劣化により、火災等の万一の災害時の使用に支障を来すおそれがあります。

このため、計画的に小型動力ポンプ付積載車の更新を行い、災害時に迅速かつ確実に対応することができる体制を整え、地域住民の安心で安全な生活環境の確保を図ります。

### ○電気通信に関する施設

本辺地内の通信インフラは、大手通信事業者が提供するLTE通信網や、ケーブルテレビ事業者が提供するケーブルインターネット等がありますが、周囲の電波環境の影響を受けやすく、上り方向の通信速度が遅いなどといった問題があり、光ファイバ網が普及している都市部との情報格差が生じています。

このことから、同地域に高速大容量通信を可能とする光ファイバ網を整備することで、超高精細映像の提供やテレワーク等に必要環境を整え、都市部との情報格差是正を図ることにより、地域コミュニティの維持や交流人口の創出へと繋げ、地域活性化を図ります。

### 3 公共施設の整備計画

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）まで5年間

（単位：千円）

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
臼田総合運動公園	佐久市	2,032,517		2,032,517	1,730,000
小型動力ポンプ付積載車	佐久市	5,070		5,070	5,000
電気通信に関する施設	佐久市	8,147		8,147	8,100
合計		2,045,734		2,045,734	1,743,100

# 総合整備計画書

長野県佐久市苦水辺地  
 辺地の人口153人：面積6.5km<sup>2</sup>

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 苦水
- (2) 辺地の中心の位置 佐久市内山1224番地1
- (3) 辺地地点数 116点

## 2 公共施設の整備を必要とする事情

本辺地は、佐久市の東に位置し、市役所から約10.3km離れた山村地区です。

### ○電気通信に関する施設

本辺地内の通信インフラは、大手通信事業者が提供するLTE通信網や、ケーブルテレビ事業者が提供するケーブルインターネット等がありますが、周囲の電波環境の影響を受けやすく、上り方向の通信速度が遅いなどといった問題があり、光ファイバ網が普及している都市部との情報格差が生じています。

このことから、同地域に高速大容量通信を可能とする光ファイバ網を整備することで、超高精細映像の提供やテレワーク等に必要環境を整え、都市部との情報格差是正を図ることにより、地域コミュニティの維持や交流人口の創出へと繋げ、地域活性化を図ります。

## 3 公共施設の整備計画

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
				特定財源	一般財源	
電気通信に関する施設	佐久市		8,682		8,682	8,600
合計			8,682		8,682	8,600

# 総合整備計画書

長野県佐久市東地辺地  
 辺地の人口171人：面積15.3km<sup>2</sup>

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 東地
- (2) 辺地の中心の位置 佐久市香坂1153番地
- (3) 辺地度数 189点

## 2 公共施設の整備を必要とする事情

本辺地は、佐久市の北東に位置し、市役所から約8.5km離れた山村地区です。

### ○電気通信に関する施設

本辺地内の通信インフラは、大手通信事業者が提供するLTE通信網や、ケーブルテレビ事業者が提供するケーブルインターネット等がありますが、周囲の電波環境の影響を受けやすく、上り方向の通信速度が遅いなどといった問題があり、光ファイバ網が普及している都市部との情報格差が生じています。

このことから、同地域に高速大容量通信を可能とする光ファイバ網を整備することで、超高精細映像の提供やテレワーク等に必要環境を整え、都市部との情報格差是正を図ることにより、地域コミュニティの維持や交流人口の創出へと繋げ、地域活性化を図ります。

## 3 公共施設の整備計画

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
電気通信に関する施設	佐久市	2,844		2,844	2,800
合計		2,844		2,844	2,800